

### 施策評価調書(元年度実績)

				施策コード	Ⅱ-3-(2)	
政策体系	施策名	おんせん県おおいたの地域磨きと観光産業の経営力強化	所管部局名	商工観光労働部		
	政策名	地域が輝くツーリズムの推進と観光産業の振興	関係部局名	商工観光労働部、生活環境部、土木建築部		
				長期総合計画頁	97	

#### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	観光産業の経営力強化	おんせん県ならではの素材磨きと観光消費の拡大	観光産業を担う人材の確保・育成とネットワークづくり	安全・安心で快適な受入態勢の整備
取組No.	⑤			
取組項目	景観の保全・再生とツーリズム基盤の整備			

#### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		元年度			6年度	目標達成度(%)						
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125		
i 観光入込客数(千人)	①②③ ④⑤	H25	17,563	20,300	19,586	96.5%	20,950							
ii 観光消費額(億円)	②	H25	2,072	2,395	2,437	101.8%	2,600							

#### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価		理 由 等	平均評価
i	概ね達成	インバウンドの6割を占めていた韓国からの旅行者が大幅に減少したものの、ラグビーワールドカップを契機としたインバウンド対策や、国内における圏域別のプロモーションなど、「大分県ツーリズム戦略2015」の着実な推進に努めたことにより、目標値を概ね達成できた。	達成
ii	達成	比較的消費単価の高い中国、香港、台湾のシェアが拡大したことや、県内の観光体験サービスの創出を支援し、県内周遊を促したことにより、目標値を達成した。	

#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・宿泊施設の受入環境整備やHP改修により、自社の魅力を活かすことで集客力向上が図れた。
②	・Webサイト等により「食」の魅力を情報発信するとともに、別途実施したアンケート調査結果に基づく「食」企画を地域に提案し、食の魅力で人を呼び込む食観光の取り組みを推進した。 ・観光体験サービスの開発にかかる費用の助成により、観光消費額の向上に寄与する有料の体験型コンテンツを6件創出することができた。 ・土産品店の販売力を高めるため、販売員の技術セミナーや店舗への訪問アドバイスなどにより生産性向上の取り組みを推進した。 ・ジオパーク全国大会開催により、県民にジオパークの魅力や楽しさが広く共有された。また、地元ガイドや商工関係者等が主体となって新たなツアーが造成され、ガイドのスキルアップなど受入環境の整備が進んだ。(参加者延べ5,113人) ・ユネスコエコパークの認知度向上のため、講演会や福岡等でのPR活動を行うとともに、エリア内を車で巡るルートの策定に着手した。また、地域活動団体の交流を行い、自然と共生する地域振興の取り組みを進めた。
③④	・観光・地域づくりを担う人材の育成を目指すおおいたツーリズム大学の修了生が322人となった。(R1年度新規修了生24人) ・多言語コールセンターの充実を図り、外国人観光客が安心して訪れることのできる態勢を強化した。
⑤	・観光客が安心して移動できるよう観光案内標識の適正管理を行った。 ・ラグビーワールドカップの開催に備え、観光周遊ルート沿いを重点的に、草刈りや展望台等からの眺望を阻害する樹木の伐採を行った。

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(元年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	宿泊施設集客力強化事業	100.0	208
	宿泊業経営基盤強化支援事業	120.0	208
②	食観光推進事業	105.5	208
	観光関連消費拡大支援事業	120.0	208
	ナイトタイムエコノミー活性化事業	—	209
	祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進事業	80.8	58
③④	おおいたジオパーク推進事業	177.9	58
	民泊の安全・安心確保事業	100.0	209
⑤	おもてなし人材育成事業	82.1	209
	おもてなし観光案内標識整備事業	—	210
	(公)道路改良事業	—	324

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○「安心・活力・発展プラン2015」中間見直し委員会 第1回活力部会(R1.5)</p> <p>・旅館の魅力向上のため、働き方を改革、そのための稼働率向上が必要である。</p> <p>○「まち・ひと・しごと創生大分県総合戦略」重要業績評価指標に関する外部有識者意見(R2.1)</p> <p>・姫島、豊後大野ジオパーク、祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク、阿蘇くじゅう国立公園など十分魅力的なコンテンツがあるが、大分県の財産である自然要素を発信しきれていないと感じる。</p>	<p>○「安心・活力・発展プラン2015」中間見直し委員会 第2回活力部会(R1.6)</p> <p>・ツーリズムではコミュニケーション、意思疎通が大事である。</p> <p>・外から来た、情報発信ができる若者をどう地域につなげていけるかが重要である。</p> <p>・行政職員と一緒にやっていく場面も多いため、行政と市民のコミュニケーションも大事。</p>
--	---

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県公式オンラインショップを活用し「食」の情報発信を強化するとともに、「食」企画付き宿泊プランの販売促進等、地域の主体的な食観光の取り組みを促進する。</li> <li>・観光サービスをさらに増やし、観光案内所や宿泊業者などを通じて観光客に届けられる仕組みを構築する。</li> <li>・課題解決に向けしっかりと計画をもって取り組む宿泊業者を支援するほか、地域単位で宿泊業者が連携して課題解決に挑戦する動きも支援していく。</li> <li>・地域を牽引するリーダーを育成するため、おおいたツーリズム大学において実践例の体験や各地の取り組みを題材に議論を行うなど、県内外での講義を実施していく。</li> <li>・観光関連施設及び設備の点検実施により、観光客等の安全、快適な環境づくりに努める。</li> <li>・ジオパークの認知度向上や誘客拡大を図るため、楽しみながら学べるワークショップ等による情報発信強化やR3年再認定に向けた課題解決支援を行う。</li> <li>・ユネスコエコパークの認知度向上やエリアへ誘客を図るため、オフィシャルアーティストを活用した情報発信や、周遊ルートの情報発信を行う。</li> </ul>